

あけぼの診療所だより



| 今月の特集 |

病院外来の“**続き**”を、自宅へ。

通院が難しくなっても、専門的な相談と

治療の選択肢を途切れさせない。

専門外来への通院が難しくなっても、病気との付き合いは続きます。
あけぼの診療所では、呼吸器疾患やリウマチ・膠原病などの専門的な相談を、
患者さんの暮らしに合わせて自宅へつなぎます。

日頃聞くことのできない
先生の思いや人柄などを
紹介しています！



診療風景イメージ

はやし みつえ

林 光恵 先生 呼吸器内科

こんな時にご相談ください

- ✓ 息切れ、咳、痰などが続き、誰に相談すればよいかわかっている
- ✓ 在宅酸素や人工呼吸器を使いながら、自宅で療養を続けたい
- ✓ 呼吸器疾患の通院が難しくなり、外来で聞けなかったことも相談したい



一言コメント

呼吸器疾患には、在宅でも続けられる治療や生活上の工夫があります。病院で聞きそびれたことも伺い、長くご自宅で過ごせる方法と一緒に考えます。

当院と連携をしてくださる方へのお願い

診察時間だけでは分からない変化がたくさんあります。息切れ、痰、睡眠、食事など、日頃の小さな気づきを教えてください。

人柄・診療への思い

お家のご飯を食べ、家族の声を聞きながら、治療を続けられる形を大切にします。

たけだ れい

武田 伶 先生 リウマチ・膠原病内科

こんな時にご相談ください

- ✓ 関節や身体の痛み、だるさが続き、原因や相談先が分からない
- ✓ 膠原病、糖尿病、慢性腎臓病の通院を続けることが難しくなった
- ✓ 今後どこで、どのように治療を続けるか決めきれない



一言コメント

リウマチ・膠原病、糖尿病、慢性腎臓病を中心に診療します。病気との付き合い方と、これからどのように過ごすかを一緒に整理します。

当院と連携をしてくださる方へのお願い

痛み、動き方、食事、疲れ方など、患者さんの「いつもと違う」を教えてください。日常の変化を診療につなげます。

人柄・診療への思い

患者さんとの会話から、その方に合った答えを一緒に見つけます。

こうした患者さんは、
まずご相談ください

- 在宅酸素や人工呼吸器を使用している
- 呼吸器・膠原病などの専門外来への通院が難しくなった
- 関節痛や全身のだるさが続くが、原因や相談先が分からない
- 専門的な治療を、自宅でどう続けるか迷っている

診療風景イメージ



迷ったら、まず **地域連携室** へ

「普段やり取りのある担当者が分かる場合は、
担当者名もお伝えください。」



地域連携室: 03-6457-7237

訪問診療契約前でも、

即日初動・往診

を含めて対応します。

※緊急性、エリア、当日の診療状況により調整します。

病院に行けない。

行きたくない。

紹介状もない。

それでも、今日、医療につながります。
訪問診療未契約・診療情報提供書なしでも、
まずご相談ください

医療が必要そうなのに、病院に行けない。
本人が受診を希望せず、家族や支援者だけでは医療につなげられない。
以前の主治医や治療内容も、十分には分からない。
あけぼの診療所では、すべての情報が揃うまで待つのではなく、
分かる範囲の情報で、まず初動に入ります。

例えば、こんな時

①

数年間、医療機関を受診していない独居の方

冷房を適切に使えず、暑い室内で2〜3日ほとんど動けない。ケアマネジャーや行政職員が訪問して、ようやく状態悪化に気づいた。

②

主治医・紹介状・治療内容が分からない

医療が必要そうだが、どこへ、どの情報で相談すればよいかわからず、支援者の判断が止まっている。

③

本人が受診を希望しない

最近ほとんど食事を取らず、いつもと様子が違う。家族が病院を勧めても、「ただの夏バテだから、寝ていれば治る」と言って動かさない。

あけぼの診療所の初動

1.まず、電話で状態を整理します

緊急性、往診の必要性、救急要請を優先すべき状態かを確認します。

2.必要な動きをその場で決めます

状態に応じて、当日往診／救急要請
他医療機関との連携／訪問看護・薬局・ケアマネジャーとの調整へつなげます。

3.必要な場合は、定期訪問へつなげます

継続的な診療が必要な場合は、そのまま訪問診療導入の調整へ進みます。

最初に教えてほしい3の情報

すべて揃ってなくても構いません。
診療情報提供書は後からでも大丈夫です。

① 今の状態

- ☐ 何が起きているか
- ☐ いつからか
- ☐ 意識、呼吸、食事、水分、尿量
- ☐ 体温、血圧、脈拍、SpO₂など、分かる範囲の数値

② 患者さんの住所・連絡先

- ☐ 患者さんの住所
- ☐ 本人・家族の連絡先
- ☐ ケアパーソンや主な支援者

③ 分かる範囲の医療・生活情報

- ☐ 既往歴、服薬内容
- ☐ 医療保険・介護保険
- ☐ 独居か同居か
- ☐ 訪問看護、ケアマネジャー、行政等の関わり

緊急時の注意

意識が悪い、自力で水分を飲めない、明らかな呼吸困難がある場合は、119番を優先してください。

医療につなぎにくい患者さんこそ、
まず地域連携室へ

※緊急性、エリア、当日の診療状況により調整します。

ケアマネジャー・地域包括支援センター・行政・訪問看護・ご家族からのご相談も受け付けます。

あけぼの診療所
地域連携室

03-6457-7237

訪問診療契約前でも、緊急度に応じて当日往診を含めて初動します。

LINE

下記3つのサービスが
利用できます

紹介フォーム入力
紹介状アップロード
進捗確認可能



ファックスにて
下記のサービスがご利用できます

紹介状の送付

03-6457-7238



メールより
下記のサービスがご利用できます

一般的なお問合せ

こちらのお問い合わせフォームから
ご相談ください



定期的に医師がお伺いする総合在宅医療サービス あけぼの診療所

患者様がご自宅で“自分らしく”療養できる環境を実現できるよう、医療のみならず生活面の課題やご家族の不安にも向き合い、総合的なサポートを行います。

院長／下山 祐人

内科 循環器内科 脳神経内科 消化器内科 呼吸器内科
腫瘍内科 血液内科 神経内科 脳神経外科 消化器外科
形成外科 心臓血管外科 皮膚科 精神科

対応する
診療内容

PEG 交換／在宅酸素／輸血（赤血球・血小板）／抗がん剤点滴／
中心静脈栄養（IVH）／疼痛コントロール／終末期ケア

ご相談・ご紹介はまずは
本院までご連絡ください

お問い合わせ・受付時間
(月〜土 9:00〜18:00)

TEL. 03-6457-7237

FAX. 03-6457-7238

〒160-0007 東京都新宿区荒木町 13 番地 4 住友不動産四谷ビル 5 階



詳細はこちらの
QR からご確認
いただけます。

あけぼの診療所 あさくさ院

〒111-0033 台東区花川戸 1-10-14 CREAL 浅草スカイビュースクエア 2 階

TEL. 03-5830-6206 FAX. 03-6457-7238

訪問エリア

■ 即日対応エリア ■ 応相談エリア



事業拡大につき / スタッフ募集中！
お気軽にご相談ください

あけぼの診療所 新宿

検索

www.akebonoclinic.net